

狭山碾茶（てんちゃ）工房（有）明日香が「彩の国工場」に指定

平成21年11月30日さいたま市の知事公館において、平成21年度彩の国工場の指定式が行われました。

県産業労働部では優れた技術・生產品や周辺環境への配慮などの点で他の模範となる県内の工場を「彩の国工場」に指定しています。

平成6年度から制度が始まり、今回の指定の32社を合わせ計413工場が指定されています。



上田知事から代表者に指定書が手渡され、その後、各社が製品等を展示したテーブルで知事と意見交換を行いました。

本格的な碾茶加工施設を持つのは関東では（有）明日香が唯一で、碾茶を粉末にした抹茶として販売しているほか、抹茶まんじゅうや和菓子などに使用されるなど、需要が拡大しています。明日香では、今後、工場見学の受け入れなど地域の人々が「ものづくり」に親しみをもっていただけるような活動を行い地域に愛される工場を目指しています。また煎茶が主体の本県において、狭山茶抹茶を使用した食品への利用拡大を一層促進し、狭山茶全体の振興に努めます。



知事に商品の説明をする
小野田社長

再生された斜面林で 森林管理活動を体験

林業部では、「彩の国みどりの基金活用事業」により里山・平地林の再生を進めています。また、管理活動に取り組むボランティア団体を対象に技術支援を行っています。

1月23日（土）に所沢市下安松の斜面林で、地元ボランティア団体「和田みどりを守る会」や市民、約70名の参加の下、市主催の作業体験が開かれました。

雑木林の維持管理方法の説明後、再生してきた竹の伐採やヒノキの間伐を行い、その作業目的についても理解を深めました。

参加者からは「森に入れて楽しかった。」「活動を続けていきたい。」との感想も聞かれ、今後の継続した管理活動が期待されます。



第31回埼玉農林業賞受賞者紹介

平成21年11月27日（土）「2009彩の国食と農林業ドリームフェスタ」において、川越農林振興センター管内の以下の6組の皆様が、埼玉農林業賞を受賞されました。

・個別経営体部門

田中金治 氏（富士見市・野菜）
大野賢司 氏（川越市・畜産）

・集団活動部門

狭山茶所沢研究会（所沢市・茶）

・いきいき高齢者部門

かまきた直売運営協議会（毛呂山町・野菜複合）

・地産地消部門

弓削多醤油株式会社（坂戸市・醤油製造）
佐久間靖夫 氏（所沢市・畜産野菜）

御受賞を心からお祝い申し上げますとともに、今後の御活躍をお祈り申し上げます。

川越農林振興センターだより第16号

平成22年3月発行

制作 埼玉県川越農林振興センター

問い合わせ 管理部管理担当

電話 049-242-1808

FAX 049-243-7233